

# オホーツクの自然・環境

## —NATURE/ENVIRONMENT—

### [自然・環境]

管内は、天然林を主とする森林や美しい湖沼などすぐれた自然景観を持ち、また多種多様な野生生物が生息する豊かな自然環境に恵まれています。

自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、すぐれた自然環境の保全や適正な利用を図るための施設整備等を進めています。

### ■世界遺産「知床」

海と陸の自然環境が密接に影響し合う豊かな生態系とさまざまな動植物の生息・生育地であることが評価され、平成17年7月17日南アフリカのダーバンで開催された第29回世界遺産委員会において、ユネスコの世界自然遺産に登録（日本では屋久島、白神山地に次ぐ3番目の登録地）。1月30日は「世界自然遺産・知床の日」。

### ■ラムサール条約登録湿地「濤沸湖」

国際的に重要な湿地として、平成17年11月8日にウガンダのカンパラで開催された第9回の締約国会議においてラムサール条約湿地に登録。

### ■網走国定公園

サロマ湖、能取湖、網走湖、濤沸湖など大小7つの湖沼群及びこれらを囲む砂丘、草原、丘陵に息づく動植物は、多種多様であり、わが国でも傑出した風景に恵まれています。昭和33年7月1日に国定公園として指定。（北海道では1番目）

### ■自然公園等指定状況

区分	箇所	区分	箇所	区分	箇所
国立公園	2	原生自然環境保全地域	1	国指定鳥獣保護区	2
国定公園	1	道自然環境保全地域	2	道指定鳥獣保護区	40
道立自然公園	2	環境緑地保護地域等	17	ラムサール条約登録湿地	1

（オホーツク総合振興局環境生活課調（令和7年3月31日現在））

### ■オホーツク管内におけるスポーツ合宿状況

#### [スポーツ合宿]

オホーツクの雄大な自然や夏の冷涼で爽やかな気候、冬の寒冷な気候は、スポーツを楽しむのに最適です。

また、小学生から実業団の様々なニーズに対応したラグビー場やウィンタースポーツ施設も整備されています。

このため、夏はラグビーや陸上長距離など、冬はスキー、カーリングなどのスポーツを楽しんでいただいています。

### ■オホーツク管内におけるスポーツ合宿の実績数

	プロ アマチュア	社会人	大学生	高校生	小中学生	その他	全体
件数 (件)	60	42	58	100	17	44	321
参加 実人数 (人)	908	349	1,292	1,685	323	483	5,040
参加 延人数 (人)	8,848	2,714	11,474	7,694	1,175	2,506	34,411

北海道環境生活部スポーツ局スポーツ振興課「令和5年度北海道スポーツ合宿実施状況調査」



知床連山と高架木道（斜里町）



濤沸湖（網走市・小清水町）



サロマ湖とワッカ原生花園（北見市）



網走スポーツ・トレーニングフィールド（網走市）



アドヴィックス常呂カーリングホール（北見市）

# オホーツクの環境保全

—NATURE/ENVIRONMENT—

## ゼロカーボンオホーツクの推進

オホーツク総合振興局では、オホーツク地域ゼロカーボン推進室を設置し、2050年までに、温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた管内の地域特性を活かした取組を管内市町村や民間事業者等と連携して推進しています。

管内では、豊富な自然環境を背景とした木質バイオマスの熱利用や畜産バイオガスプラントによる発電等再生可能エネルギーの活用が図られているほか、地域新電力が設立されるなど、ゼロカーボン北海道実現に向けた取組が活発になってきています。



興部北興バイオガスプラント

## ■オホーツク流水トラスト運動

古くからオホーツク地域の文化や暮らしに大きな影響を与えてきた流水の面積が、年平均気温の上昇により、ここ40年ほどで約30%減少。地球温暖化などの影響が懸念されています。

オホーツク地域が地球温暖化防止の警鐘を鳴らし、「流水の保護」をキーワードに取り組む環境啓発運動が「オホーツク流水トラスト運動」です。また、この運動を発展させ、産官学民で連携して脱炭素機運醸成と行動変容促進を図るネットワーク「オホーツク流水トラスト応援団」を設置し、「環境先進地オホーツク」というクリーンなイメージの形成と持続可能な地域づくりを目指しています。



オホーツク流水トラスト応援団

## ■ごみ処理（一般廃棄物）・汚水処理

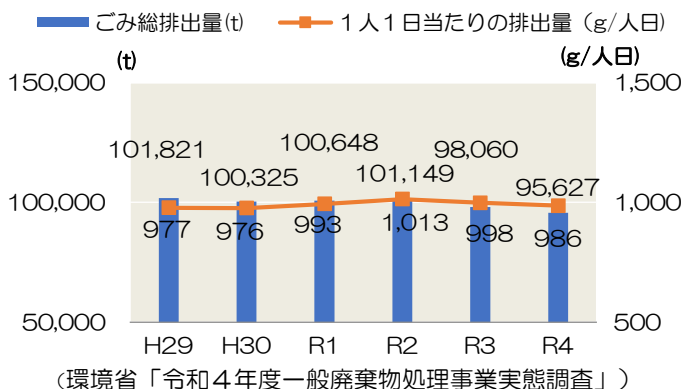
管内では、ブロック別（北見、斜網、遠紋）のごみ処理広域化基本計画に基づき、複数の市町村が連携したごみ処理に取り組んでいます。

令和4年度のごみの総排出量は95,627 t、1人1日当たりのごみ排出量は986 gで、前年度に比べほぼ横ばいとなっています。リサイクル率は20.3%で、前年度と比べほぼ横ばいですが、全道平均をやや下回っています。

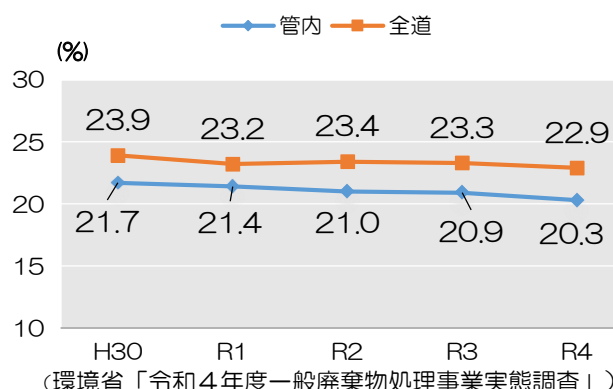
また、令和5年度の汚水処理人口普及率は95.6%で、全道平均をやや下回っています。

快適な生活環境や良質な水環境づくりのため、ごみの排出抑制やリサイクルの推進、汚水処理施設の普及促進が望まれます。

## ■ごみの排出量（一般廃棄物）



## ■ごみのリサイクル率（一般廃棄物）



## ■汚水処理人口普及率

（単位：%）

区分	R4		R5		
	下水道	農業・漁業 集落排水	下水道	農業・漁業 集落排水	浄化槽
管内	95.3	3.8	84.9	3.8	6.9
全道	96.3	1.2	92.0	1.2	3.3

（北海道「北海道の下水道・汚水処理普及状況」）

**[保健医療福祉]**

「安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会」を実現するため網走・北見・紋別に保健所を設置し、「地域保健・食品衛生・環境衛生の向上、医療及び薬事に係る事項、歯科保健・精神保健の向上、感染症の予防」など皆さんの健康保持及び増進を図るための各種取組を進めています。

また、高齢者・障がい者の介護や福祉、子どもを健やかに育てる環境の整備など誰もが安心して暮らすことができる環境づくりに取り組んでいます。

## ■保健所別医療施設数

区分	病院	診療所	歯科診療所
オホーツク管内	32	144	118
網走保健所	8	29	25
北見保健所	17	75	63
紋別保健所	7	40	30

(オホーツク総合振興局保健行政室調 令和7年1月1日現在)

## ■介護保険指定事業所状況

事業種類	事業所数
訪問介護	87
訪問入浴介護	4
訪問看護	133
訪問リハビリテーション	112
居宅療養管理指導	235
通所介護	38
通所リハビリテーション	156
短期入所生活介護	37
短期入所療養介護	22
特定施設入所者生活介護	14
福祉用具貸与	25
特定福祉用具販売	25
介護老人福祉施設	29
介護老人保健施設	10
介護療養型医療施設	0
介護医療院	3

(オホーツク総合振興局保健行政室・社会福祉課調 令和7年1月1日現在)

## ■主な社会福祉施設状況

区分	施設数	施設数	
		公営	民営
老人福祉施設	281	21	260
● 養護老人ホーム	6	1	5
● 特別養護老人ホーム	29	3	26
● 軽費老人ホーム	12	1	11
● 認知症高齢者グループホーム	67	0	67
● 生活支援ハウス	8	7	1
● 老人デイサービスセンター	143	0	143
● 老人(在宅)介護支援センター	7	3	4
● 老人福祉センター	9	6	3
障害者支援施設等	202	0	202
● 障害者支援施設	11	0	11
● 療養介護	1	0	1
● 短期入所	30	0	30
● 生活介護	35	0	35
● 自立訓練(生活訓練)	1	0	1
● 就労移行支援	6	0	6
● 就労継続A型	13	0	13
● 就労継続B型	47	0	47
● 共同生活援助	44	0	44
● 地域活動支援センター	14	0	14
児童福祉施設	146	91	55
● 障害児入所施設	2	0	2
● 医療型障害児入所支援	1	0	1
● 児童養護施設	2	0	2
● 児童自立支援施設	1	0	1
● 助産施設	3	0	3
● 幼保連携型認定こども園	33	3	30
● 認可保育園	37	31	6
● 児童館・児童センター	38	36	2
● 小規模住居型児童養育事業	1	0	1
● 児童自立生活支援事業	1	0	1
● 児童家庭支援センター	1	0	1
● 子育て支援センター	26	21	5

(オホーツク総合振興局社会福祉課調 令和7年1月1日現在)



広域災害救助医療情報システム(EMIS) 操作訓練



特別養護老人ホームなないろ館(網走市)